

1. 看護学科の教育理念

看護学科の教育理念は、本学の基本理念でもある「平和・自由・進歩」を踏まえ、生命の尊厳と人権を尊重し、擁護する倫理観と豊かな幅広い人間性を培うとともに、その人がその人らしく生きられるように、ヒューマンケアを提供できる高度医療を担う質の高い看護専門職者を育成することです。また、保健・医療・福祉を統合的に捉え、社会のニーズに対応し、地域社会及び国際社会に貢献しうる実践能力のある健康支援人材を育成します。そのために、看護学科では人間をホリスティックに理解することを最大の特徴とし、人間が生きることの意味や人間のこころとからだの理解を基盤として、健康に関わる専門知識を統合的に習得します。また、健康の保持、増進の方策を科学的、総合的に明らかにし、『市民参画型の健康づくりを支援する専門職（看護の対象となる人、1人ひとりが健康づくりに参画することを支援する専門職）』の育成を目指します。

2. 参画型看護教育の実践に向けて

【市民が主人公となる医療の場を創出する教育】

21世紀は患者がPatient(我慢する人)ではなく、Person(健康に生きる人)でなければならないと考えています。このような患者中心の看護を真に実現するのが参画型看護教育です。これからの時代、看護職は市民と協働して健康を回復し、平和と希望の中で生きることができるよう保健・医療・福祉の場において市民の健康に生きる権利の擁護者として活躍することが期待されています。このような時代において、創造的に活躍できる自己教育力の高い看護専門職者を育成するのが参画型看護教育です。

【学生が主人公として成長する参画型看護教育】

学生は学ぶ主体(主人公)としてコミットメント能力(参画力)を育んでいます。コミットメント能力とはその場や状況の只中に自己を投げ入れ(プロジェクト)、自己を成長(超我)へと向かわせる力です。学生は教師や仲間との対話を通して授業へ参画し、自らが授業を創りだしています。少人数教育やゼミ学習を通して大きく成長します。

看護学科では、参画型看護教育を実践し、教育目標を達成し、さらに看護師・保健師国家試験受験資格を取得するための教育課程を用意しています。

教育課程の特徴

1. 看護学科の教育

看護学科は学生が主体（主人公）となる教育実践を目指し、学生自らが授業作りに参画する協働探求を中心とした学習、双方向型の教育、少人数教育を実践するためにゼミ、クラスワークを主体とした『教授－学習課程』を取り入れています。教育課程の編成の基本的な考え方は、**学生自らが学ぶ主体として成長していくための参画力を身につける『学生参画型看護教育』**です。具体的には、コーチング理論や協働学習理論をもとに、学生一人ひとりの個性を大事にするカードメソッドを教授法に応用しています。

このような協働的探求をとおしてダイナミックに知識創造の「場」作りが学生の手によって営まれます。受身的な学習態度や一方向的な形式の授業ではなく、学生と教員が協働して授業を進めていきます。学生の**協働探求力、自己教育力、自己評価力**の育成を教育目標に位置づけて、教養教育科目の『教養演習』をコアカリキュラムとして教養教育を編成します。

2. 教育課程のすすめ方

『学生参画型看護教育』は、学生が自ら学ぶ主体として成長していくために、参画力を身につける体系化された教授法です『学生参画型看護教育』では、「**自己との対話**」「**他者との対話（仲間、教員、職員との）**」「**地域社会との対話**」をとおして「**個の自立と成長**」、「**個の学習目標の達成**」、「**自己教育力の育成**」を目指しています。そのため、ゼミ単位、クラス単位、また学年全体での授業とさまざまな授業スタイルを取り入れ、特にゼミ活動を中心とした教養演習やケアリング文化実習では、学生が教員とともに授業を作り運営する形式をとっています。ゼミは6～7人、クラスは30人程で編成とし、授業内容に合わせて柔軟に運用しています。そのことにより、学生個々の学習支援や生活支援がスムーズになり、学習時間の確保や試験前の学習に取り組む姿勢など、学習意欲の向上、学習継続への意欲などの効果が得られています。

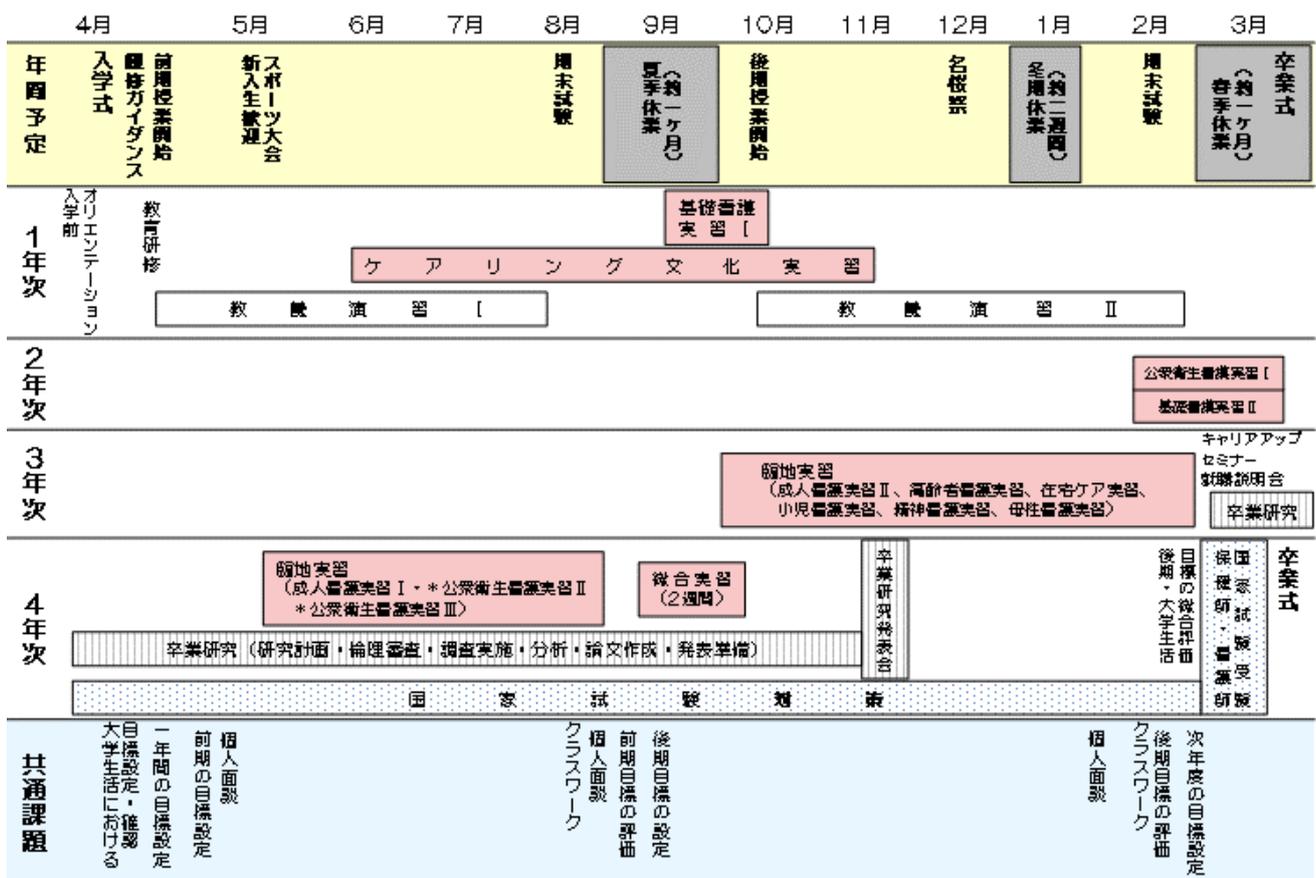
		一年次	二年次	三年次	四年次
目標		参画型看護教育の基本理念、及び学習方法の取得と評価	参画型看護教育の学習方法の活用と評価	参画型看護教育の学習方法の発展と評価	参画型看護教育を活用したキャリア開発と評価
自己教育力を育む3つの対話	①自己との対話 看護キャリア開発	教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ		看護研究方法 看護実践研究の自主企画	卒業研究 看護実践研究の自主企画
		自分自身との対話を通して自己理解を深め、看護職としてのキャリア開発を行う。			
	②他者との対話 参画型授業開発				
	授業・学内行事などを通じて仲間・教員・職員と対話し、自らがカリキュラム開発を行う。				
③地域との対話 参画型看護実践	ケアリング文化実習 基礎看護実習Ⅰ	基礎看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅰ	小児看護実習 母性看護実習 成人看護実習Ⅱ 高齢者看護実習 精神看護実習 在宅ケア実習	成人看護実習Ⅰ 総合実習	公衆衛生看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅲ
	フィールド活動、看護実習を通して地域への関心を深めケア文化の開発を行う。				

図1. 学生参画型看護教育の特徴

3. 教育課程の展開

『学生参画型看護教育』の実践の特徴は以下の通りです。各年次の最後には、1年間の学びの評価を行い、課題についてはグループで話し合い、問題解決に向けた方法を協働探究します。また、学期末毎にクラス担当教員と個人面談を行い、学生個々の学習状況や生活状況を振り返ります。

- 1年次では、本学における学習者としての基本的な心がまえや学習方法として、**自己の学習目標を明確にします**。クラスやゼミ活動の進め方についても話し合い（クラスワーク・ゼミワーク）、学生自らクラス活動を企画、運営します。
- 2年次では、自分自身のアイデンティティーの確立をめざして、将来のキャリアデザインを描きます。クラスワークでは、クラス活動の進め方に関するアクションプランを立てて実践します。
- 3年次では、自分らしい専門性の獲得をめざして学習ガイダンスを学生自らが企画、運営し、3年次の学習目標を作成します。
- 4年次では、卒業後の進路の開拓をめざして学習ガイダンスを学生自らが企画、運営し、4年次の学習目標を作成するとともに、4年間の学びを評価し後輩へ伝承していくことを目標とします。



*保健師課程選択コースのみ

図2. 4年間のスケジュール

※期末試験終了後、試験結果を確認してから帰省しましょう。すぐに帰省しないように！

授業科目の区分と卒業に必要な単位数

1. 卒業に必要な単位数

卒業判定に当たっては、学則で定めた基準による所定の単位を修得する必要があります。人間健康学部看護学科の卒業に必要な単位数（看護師国家試験受験資格取得に必要な単位数）は129単位です。科目区分の詳細は、p128～132の別表3及び4を参照しましょう。

表1. 卒業要件

区 分		科目区分	必修	選択	卒業に必要な単位	小計
教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8	0	8単位以上	28単位以上
		ライフデザイン科目	2	0	2単位以上	
		思想と論理科目	0	2	2単位以上	
		沖縄理解科目	0	2	2単位以上	
		健康・スポーツ科目	0	2	2単位以上	
	共通選択	外国語科目	2	2	4単位以上	
		国際理解	0	2	8単位以上 (統計学のみ必修)	
		人文科学	0	2		
		社会科学	0	2		
		自然科学	2	0		
専門基礎	人間理解	人間の理解	10	0	10単位以上	33単位以上
		健康の理解	14	0	14単位以上	
		環境の理解	9	0	9単位以上	
専門教育科目	専門分野Ⅰ	基礎看護	13	0	13単位以上	68単位以上
	専門分野Ⅱ	成人看護	13	0	13単位以上	
		母性看護	6	0	6単位以上	
		小児看護	6	0	6単位以上	
		高齢者看護	6	0	6単位以上	
		精神看護	6	0	6単位以上	
	統合分野	在宅看護	3	0	3単位以上	
		総合看護	12	0	12単位以上	
保健師教育分野	公衆衛生看護	3	0	3単位以上		
卒業に必要な単位			115	14	129単位以上	129単位以上